



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流氷分布 1988年1月～5月
Author(s)	青田, 昌秋; AOTA, Masaaki; 石川, 正雄 他
Citation	低温科学. 物理篇. 資料集, 47, 35-64
Issue Date	1989-03-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/18762
Type	departmental bulletin paper
File Information	47_p35-64.pdf



Masaaki AOTA, Masao ISHIKAWA, Tohru TAKATSUKA, Mitsuo IKEDA, Kunio SHIRASAWA 1988 Distribution of Pack Ice off Okhotsk Sea Coast of Hokkaido Observed with Sea Ice Radar Network, January-May, 1988. *Low Temperature Science, Ser. A, 47. Data Report.*

レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流水分布^{*,**}

— 1988年1月～5月 —

青田 昌秋・石川 正雄・高塚 徹

池田 光雄・白澤 邦男

(低温科学研究所)

(昭和63年12月受理)

北海道大学流水観測用レーダー網による、北海道オホーツク海岸沖の、1988年1月11日から同年5月7日までの毎日午前9時における流水分布を示した。図はレーダー・ブラウン管面に映る流水域（沿岸結氷域も含む）を人手によりプロットしたものを基本とし、同時に撮影したPPI写真を参照しながら描いたものである。

氷野内には大小無数の氷湖が存在する場合もあるが、作図に当たっては、氷縁と比較的巨大な氷湖に主眼をおいた。PPI写真は、流水期間中3時間毎に撮影され、そのフィルムが保存されている。詳細な流水分布の変化を追跡する場合には利用できる。

なお、1969年から1988年までの資料集に基づいて、流水量変動に関しての統計的整理が行われ、その結果は低温科学 物理篇 第47輯に「北海道沿岸の流水量の変動」と題して報告される予定である。

*北海道大学低温科学研究所業績 第3200号

**北海道大学低温科学研究所 流水研究施設 研究報告第128号

























































